

校内体制 編

Q7

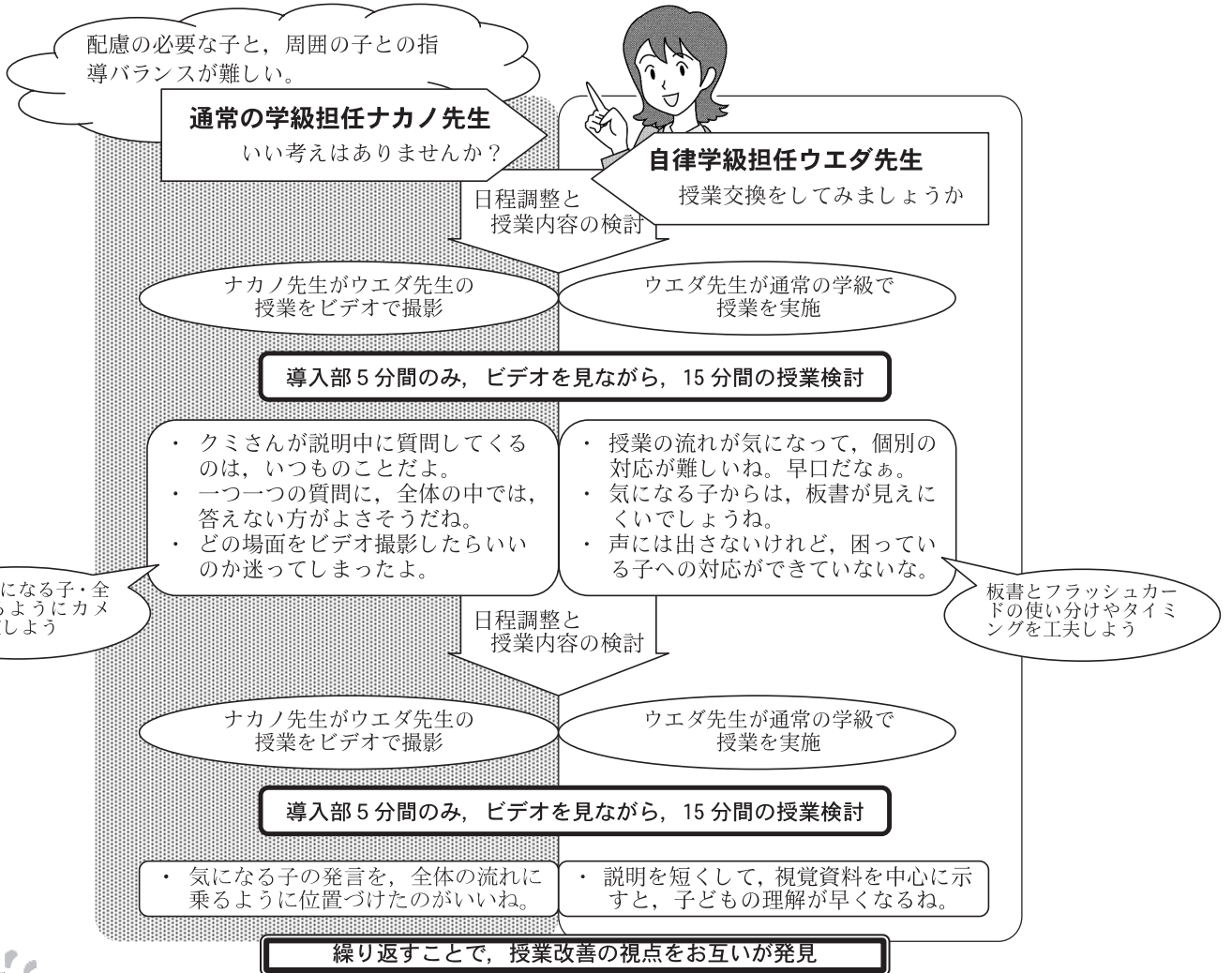
分かりやすい授業にするための 指導の工夫にはどんなものが？

まずは
ここから



- 客観的な目で授業の見返しをして、その子の興味・関心、特徴的な姿、思いなどを探ります。
- 興味をもてそうな学習や場面を、できそうなところから取り入れます。
- 同僚の助けを得るのも、大いに役立ちます。

指導に悩んだナカノ先生は、自律学級担任のウエダ先生に相談しました。



【キーポイント】 ナカノ先生は、ウエダ先生と日常的に相談を繰り返していました。また、個別の指導計画を利用して、適切に対応する体制もできていました。

このような背景があって実現した「授業交換」が客観的な見返しを可能とし、学級全体の授業改善につながりました。